

2018年4月27日 日刊 建設工業新聞に当センター理事長の記事が掲載されました。

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

2018年(平成30年)

4月27日金曜日

第19416号

国家資格対策センター（東京都新宿区、福崎昭一代表理事）は、パソコンやスマートフォンなどの端末で、「いつでも、どこでも、繰り返し」学習できる管工事施工管理技士合格講座を26日までに開講した。eラーニングシステムを活用した講座で、既に配信している建築・土木の施工管理技士検定試験に対応した講座では、毎年全国平均を上回る合格率を達成するなど、実績を積み上げている。

1級管工事施工管理技士試験は、学科試験と実地試験で構成され、学科の合格率は過去7年間で平均43.7%、実地試験の合格率は56.8%で最終合格率は24.8%と4人に1人しか合格できない難関試験となっている。

そこで同センターは、仕事をしながらでも受験勉強ができる仕組みとして、自分の都合に合わせて学習できるeラーニング講座を、建築、土

国家資格対策センター

管工事施工管理技士講座を開講 eラーニングで手軽に

木に続いて管工事施工管理技士対策向けに新設した。

学校や講習会に

通わなくても、場所を選ばずに学習できるのが特長で、学科を約17時間、実地を約4時間の動画にまとめた。現役で活躍している3人の一流講師が講義を担当している。

過去5年分の試験問題を毎日メールで配信したり、講師が経験記述を添削したりといった合格までの手厚いサポート体制も万全だ。福崎理事長は「仕事をしながらの資格取得なので、安価で日常のちょっとした空き時間でも勉強できるこの講座を活用して合格につなげてほしい」と話している。



福崎代表理事